



ClaudeCode研修 環境構築手順 (for Windows)

環境構築にあたって

- 本手順書は、事前に弊社の環境にて検証した内容を掲載していますが、お使いのPC環境によって設定が異なったり、エラーが出る可能性があります
- お困りの際や手順通りに進行しない場合は、「よくあるエラーと対処法（p.34～）」をご確認ください。それでも解決しない場合は、エラー画面のスクリーンショットや直前の操作内容を添えて、下記いずれかにご連絡・ご相談ください。
 - ①**ChatGPT、Claudeなどの生成AIに質問する**
 - エラー内容をそのまま貼り付けると、即座に解決策を提示してくれるため、手軽に解決したい場合におすすめです
 - ②**メール窓口**：kenta.nomoto@givery.co.jp
 - 宛先：株式会社ギブリー 野本
- 万が一、エラーなどで研修当日までにセットアップを完了できない場合でも、当日に可能な限りフォローさせていただきますので、ご安心ください

アジェンダ

- 共通 (Day1・Day2)
 - Obsidianのインストール
 - Claude Codeのインストール
 - Claude CodeとObsidianの連携
 - Pythonパッケージ管理ツールのインストール
- Day3 (発展・Vibe Coding)
 - Node.jsのインストール
- Appendix
 - よくあるエラーと対処法
 - ショートカット集

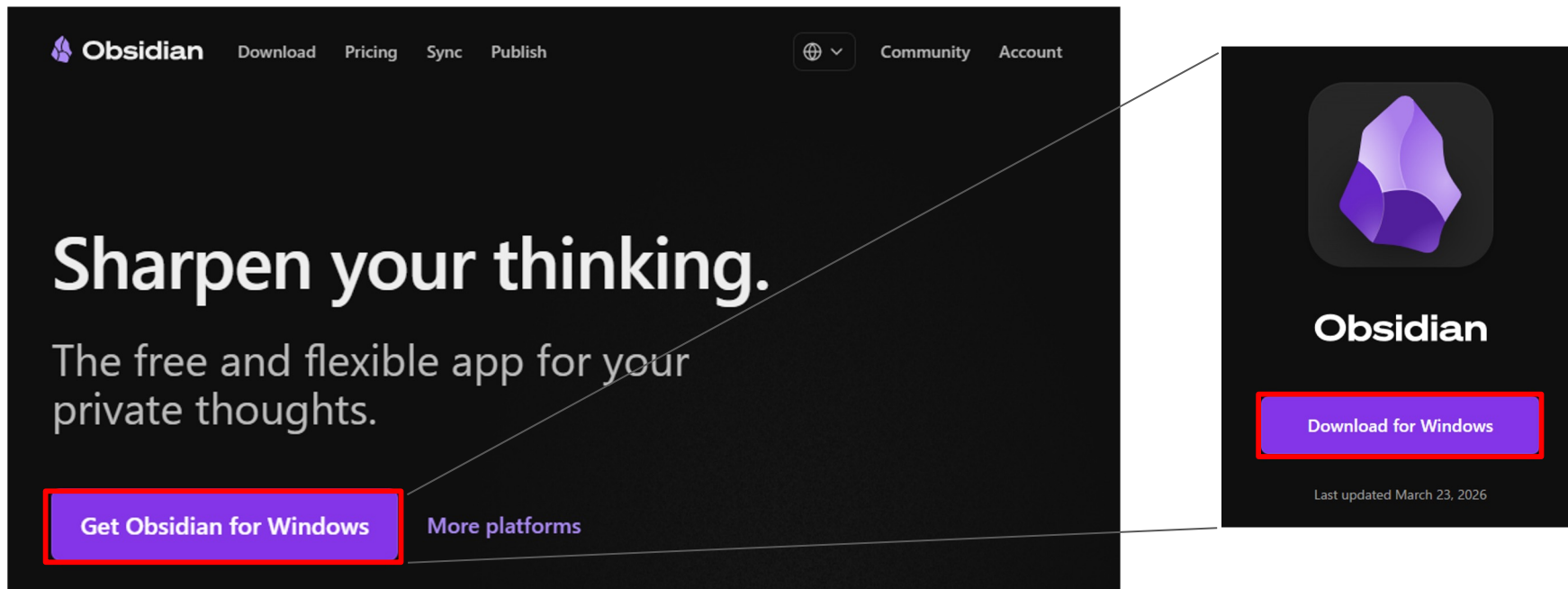
共通(Day1 - Day2)

Obsidian のインストール

Obsidianのインストール

① インストールファイルのダウンロード

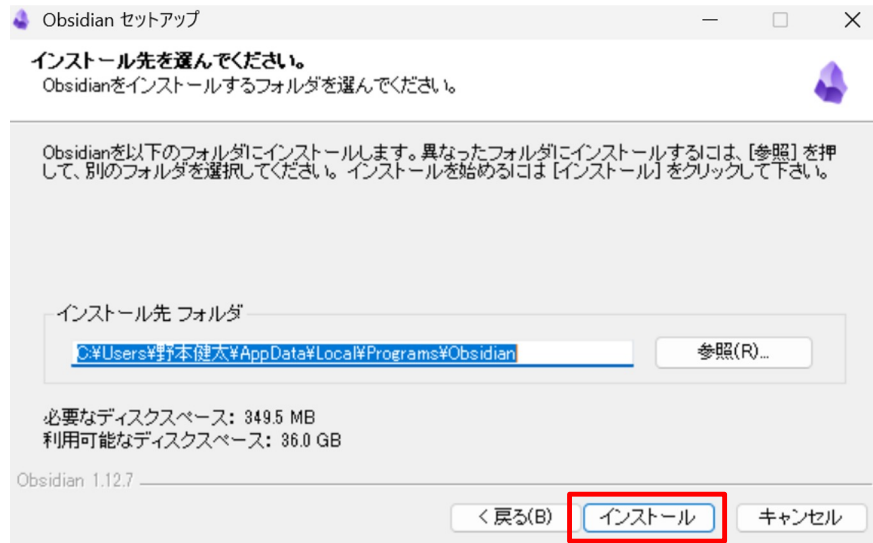
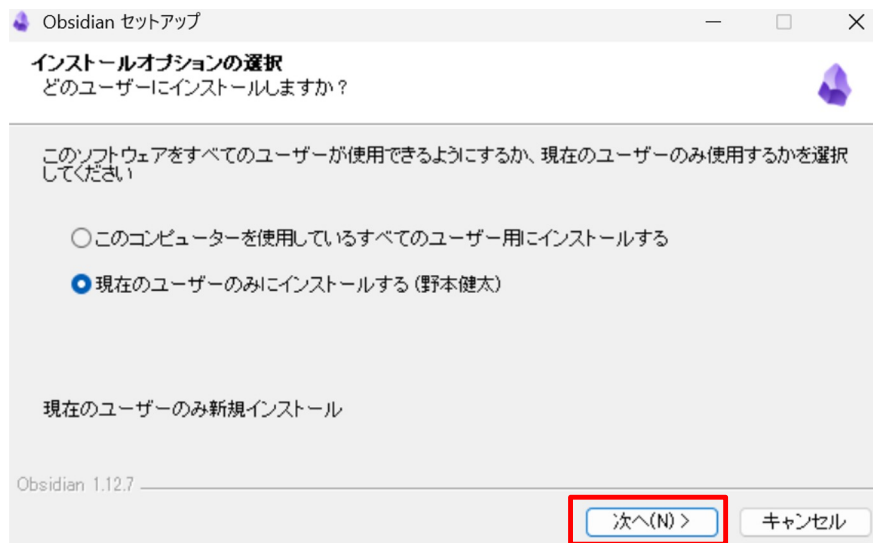
- Obsidianの公式サイト (<https://obsidian.md/>) から、からインストーラーを取得します



Obsidianのインストール

②Obsidianのインストール

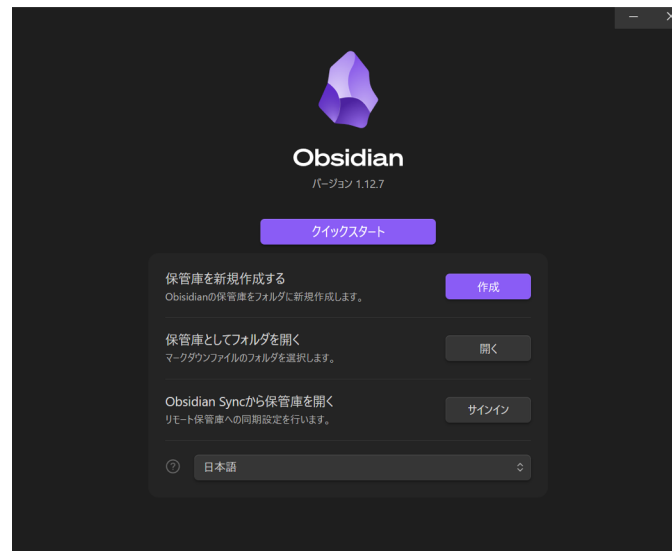
- ダウンロードされたファイル「Obsidian-バージョン名.exe」を開き、画面の指示に従ってインストールを進めてください。
 - インストール先やユーザーフォルダの指定画面が表示されますが、すべてデフォルトのままでも問題ありません。



Obsidianのインストール

③Obsidianを開く

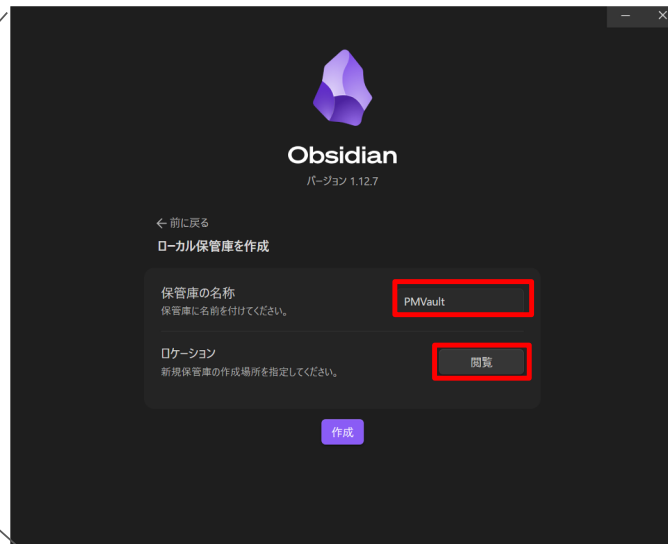
- セットアップが完了したら、アプリを起動し、右図の表示がされればインストールは完了です
 - 「WindowsによってPCが保護されました」と表示された場合：標準的な警告のため、詳細情報 → 実行を選択してください。



Obsidianのインストール

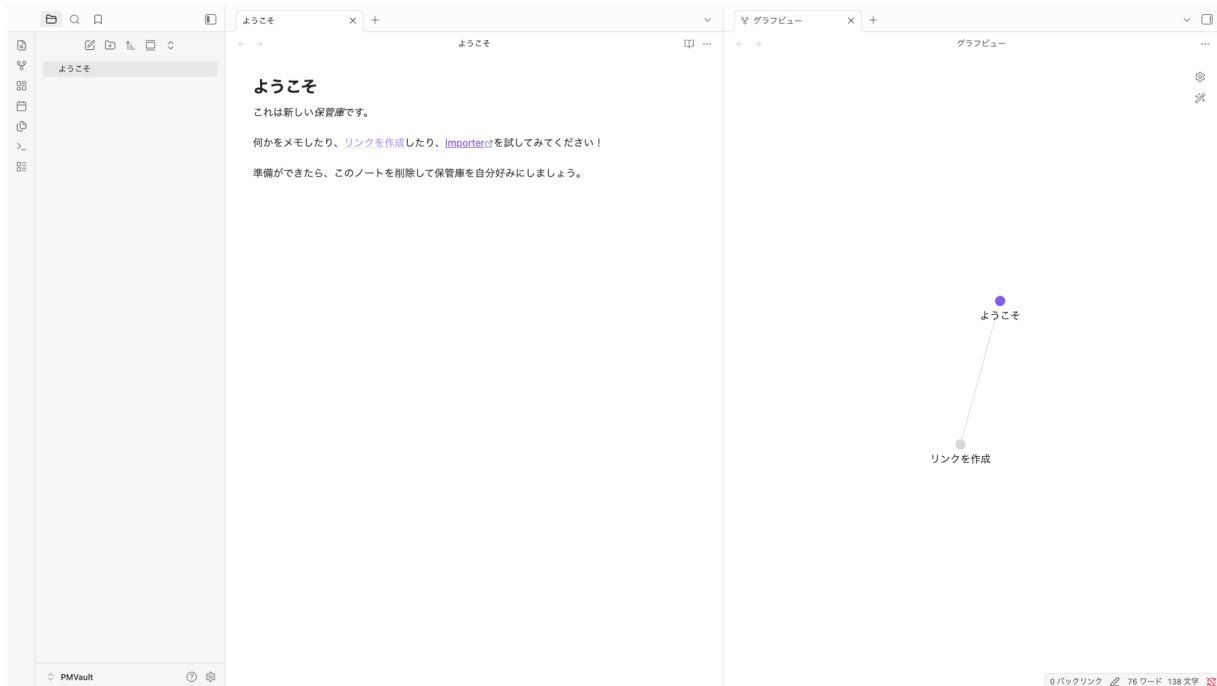
④ Obsidianで保管庫（Vault）を作成する

- 「作成」を選択し、保管庫の名前を **PMVault**、保存場所をCドライブ（末尾に (C:) と書かれているドライブ）に設定し、研修用のフォルダを作成してください
 - 保存場所は任意の場所でも問題ありませんが、OneDriveなどのクラウド同期フォルダの直下はエラーの原因になるため、Cドライブを指定しています
- 既に別の保管庫をお使いの方も、研修用に新規で1つ作成をお願いします



Obsidianのインストール

- ④Obsidianで保管庫（Vault）を作成する
- 保管庫が開けば、Obsidianのセットアップは完了です

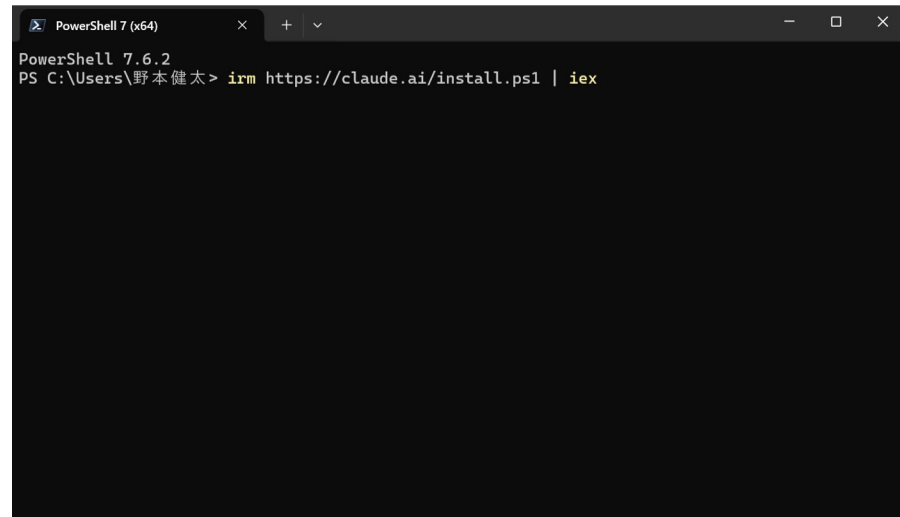
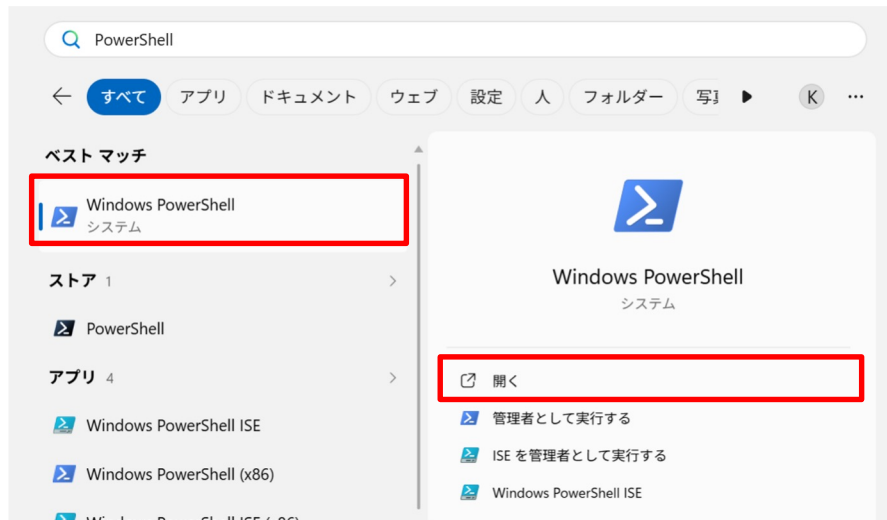


Claude Code のインストール

Claude Codeのインストール

① ClaudeCodeのインストール

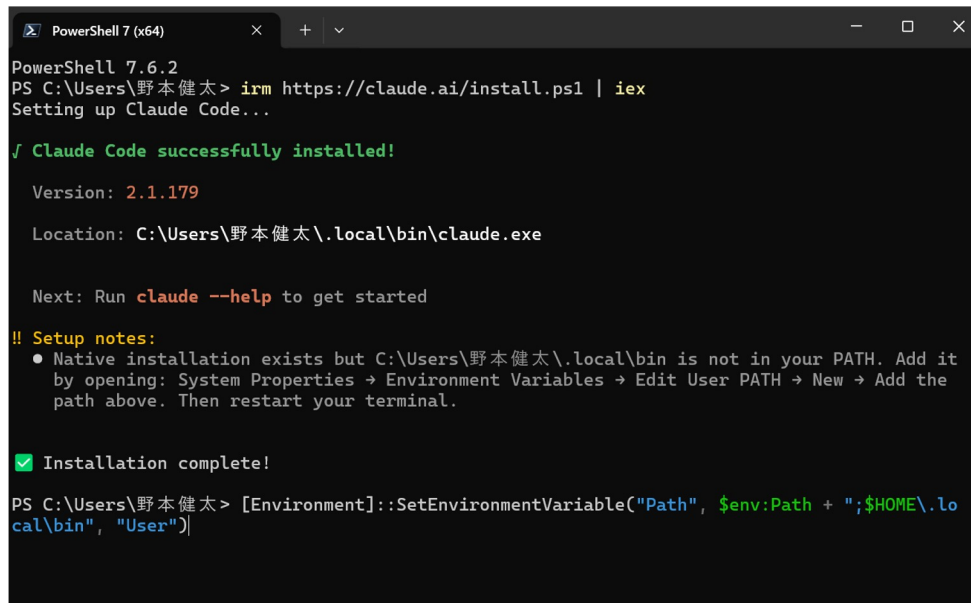
- スタートメニュー（windowsキー）でWindows PowerShellを検索し、ターミナルを開きます（左図）
- 開いたターミナルに下記のコマンドを入力し、Enterキーを押してください（右図）
 - `irm https://claude.ai/install.ps1 | iex`



Claude Codeのインストール

① ClaudeCodeのインストール

- 「Claude Code successfully installed!」という表示がされたら、下記のコマンドを入力しEnterキーを押してください
 - `[Environment]::SetEnvironmentVariable("Path", $env:Path + ";$HOME¥.local¥bin", "User")`
- これでClaude Codeのインストールは完了です



```
PowerShell 7 (x64)
PowerShell 7.6.2
PS C:\Users\野本健太> irm https://claude.ai/install.ps1 | iex
Setting up Claude Code...

✓ Claude Code successfully installed!

Version: 2.1.179

Location: C:\Users\野本健太\.local\bin\claude.exe

Next: Run claude --help to get started

!! Setup notes:
• Native installation exists but C:\Users\野本健太\.local\bin is not in your PATH. Add it
  by opening: System Properties → Environment Variables → Edit User PATH → New → Add the
  path above. Then restart your terminal.

✓ Installation complete!

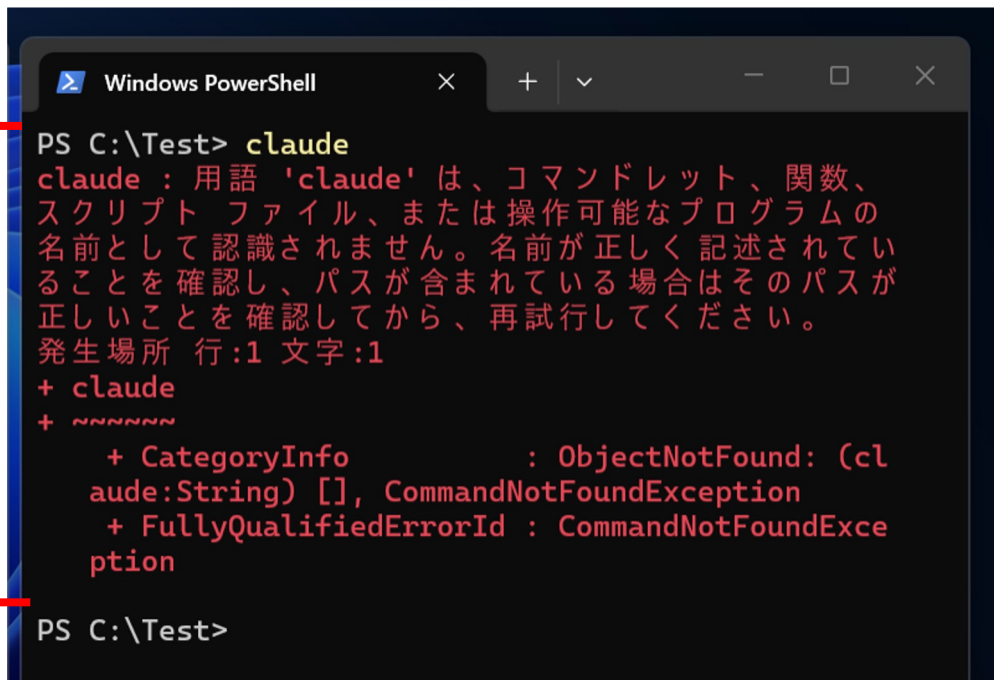
PS C:\Users\野本健太> [Environment]::SetEnvironmentVariable("Path", $env:Path + ";$HOME¥.local¥bin", "User")
```

もしインストール時にトラブルが発生した時は

- 使用できる生成AIツールを用意し、相談して解決します
- 送信した命令から途中経過のログ、最終的な記載まで全てコピーして送信します

送信したコマンド

途中で表示されたエラー



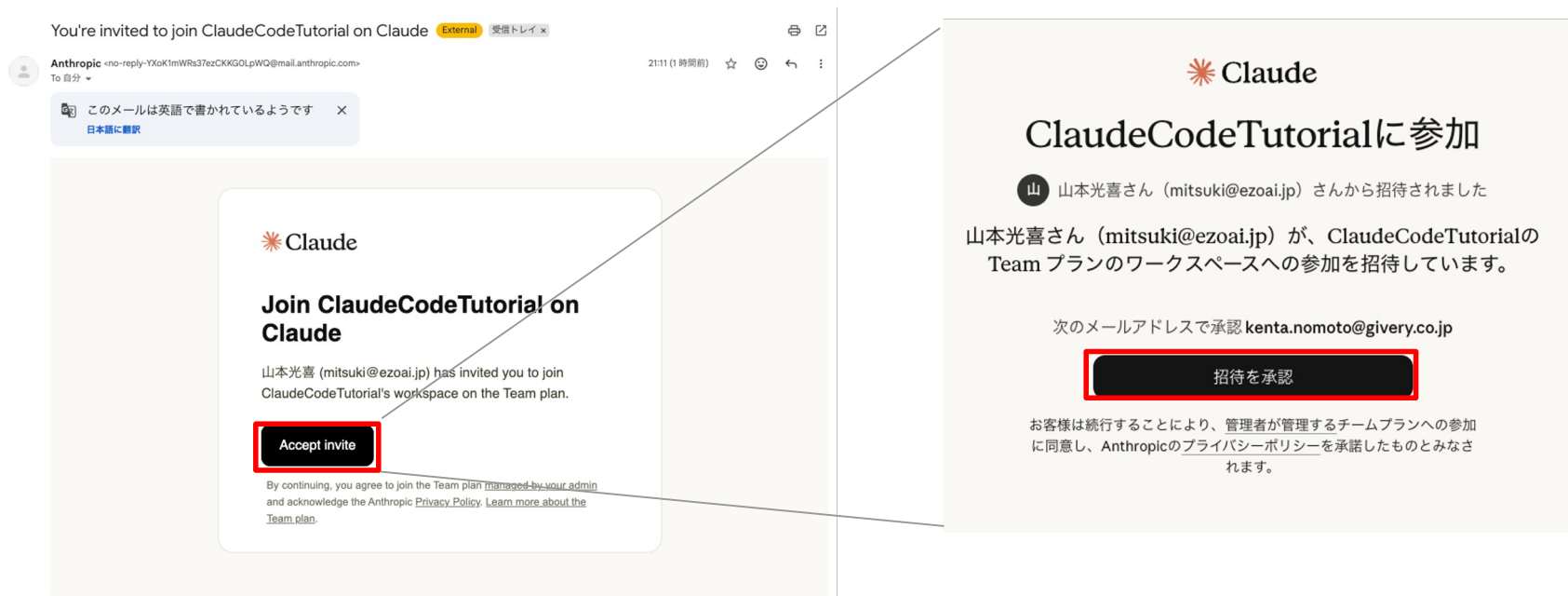
```
Windows PowerShell
PS C:\Test> claude
claude : 用語 'claude' は、コマンドレット、関数、スクリプト ファイル、または操作可能なプログラムの名前として認識されません。名前が正しく記述されていることを確認し、パスが含まれている場合はそのパスが正しいことを確認してから、再試行してください。
発生場所 行:1 文字:1
+ claude
+ ~~~~~
+ CategoryInfo          : ObjectNotFound: (claude:String) [], CommandNotFoundException
+ FullyQualifiedErrorId : CommandNotFoundException

PS C:\Test>
```

Claude Codeのインストール

② サブスクリプションに参加する

- 招待メール「You're invited to join ClaudeCodeTutorial on Claude」を開き、本文のリンクから承認をしてください
 - 講師の安田（旧姓：山本）より招待メールをお送りしております



Claude Codeのインストール

②サブスクリプションに参加する

- 「両方のアカウントを保持する」を選択して、続行して下さい
- チャット画面に遷移したら、手続きは完了です

ClaudeCodeTutorialに参加しました！

×

Claude の個人アカウントもお持ちです。その扱いとデータの処理方法を選択してください。

☒ 両方のアカウントを保持する
個人アカウントとClaudeCodeTutorialはいつでも切り替えられます。

☐ ClaudeCodeTutorialのみを使用する
個人アカウントが閉鎖されます。チャットとプロジェクトの扱いは次のステップで選択していただきます。

キャンセル

続行

Claude Codeと Obsidianの連携

参考：Claude CodeとObsidianの連携全体図

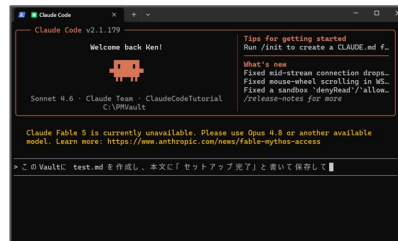
 Claude：人間に代わって操作するエージェント

ユーザー設定

ユーザーディレクトリ/~/~.claude

ユーザー設定（危険なコマンドの実行禁止や、確認画面の省略など）はClaudeCodeが動作する全ての環境において適用されます

ユーザー設定のフォルダはClaudeCodeインストール時に指定したパスに自動で作成されます



プロジェクト設定

配布フォルダ/~/~.claude

研修などで実際に用いるプロジェクトフォルダです
ユーザー設定よりこちらの設定が優先されます



claudeが書き込み

読み込み

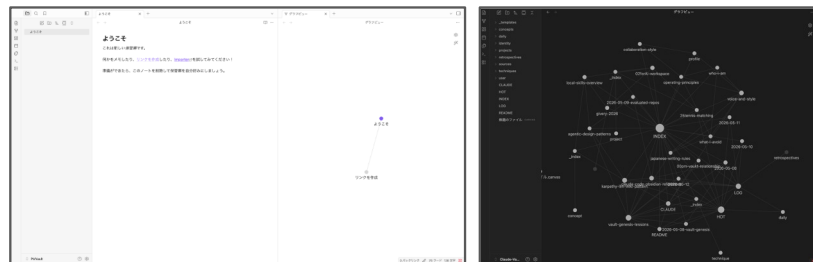


Obsidian：本研修における自分専用のAIのデータベース

PM-Vault（ローカル保管庫）

本研修用の任意の場所に空の保管庫を作成ください

Claudeのユーザー設定と別に蓄積していく業務のナレッジ
や人間の知見を収集・蓄積・整理します



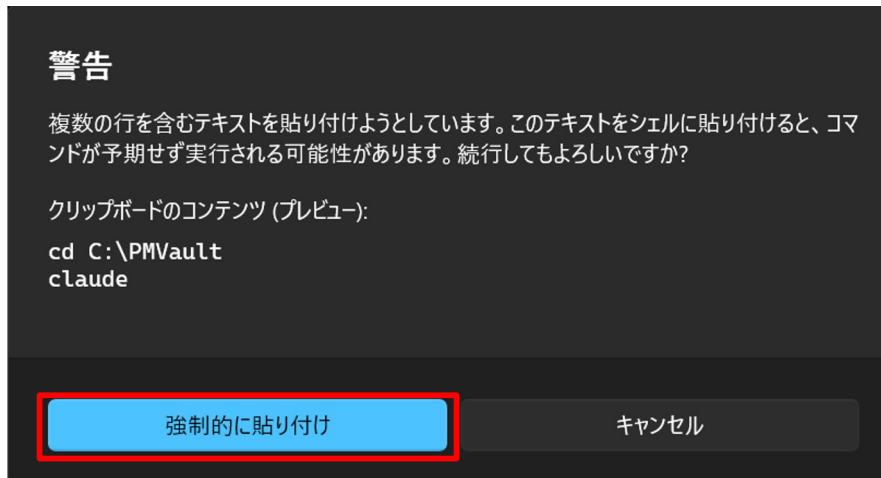
Claude CodeとObsidianの連携

① 「Obsidianのインストール」で作成した保管庫（PMVault）でClaudeCodeを開く

- ターミナルを開き、下記のコマンドを入力し、Enterキーを押してください

```
cd C:¥PMVault  
claude
```

- Cドライブ以外に保存した場合は1行目を `cd /d [保存したドライブの文字]:¥PMVault` に変更して入力してください。
- 警告表示が出る場合は、「強制的に貼り付け」を選択し、実行してください

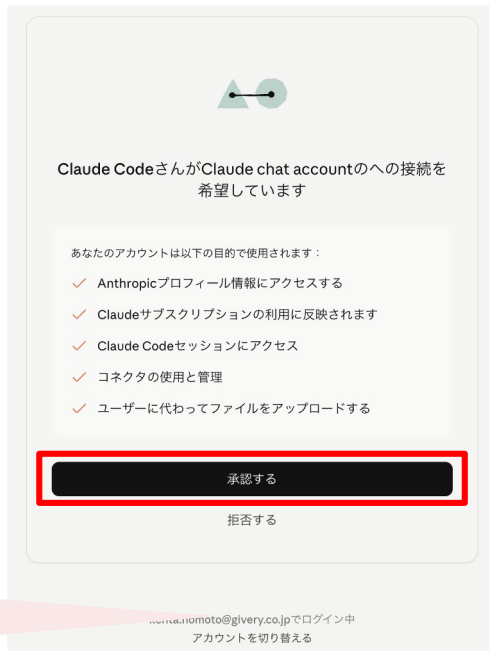


Claude CodeとObsidianの連携

②サブスクリプションアカウントと接続する

- ブラウザに遷移したら、承諾するを押してください
 - Giveryから招待をされたアドレス（@adlittle.com）でログインをしてください

Giveryから招待を受けたメールアドレスでない場合はアカウントを切り替えてください



Claude CodeとObsidianの連携

②サブスクリプションアカウントと接続する

- ターミナルで以下の表示がされれば、アカウントとの接続は完了です
- 次頁以降の設定を進めるため、Enterキーを押してください



Claude CodeとObsidianの連携

③ターミナル上でのClaudeCodeの諸設定

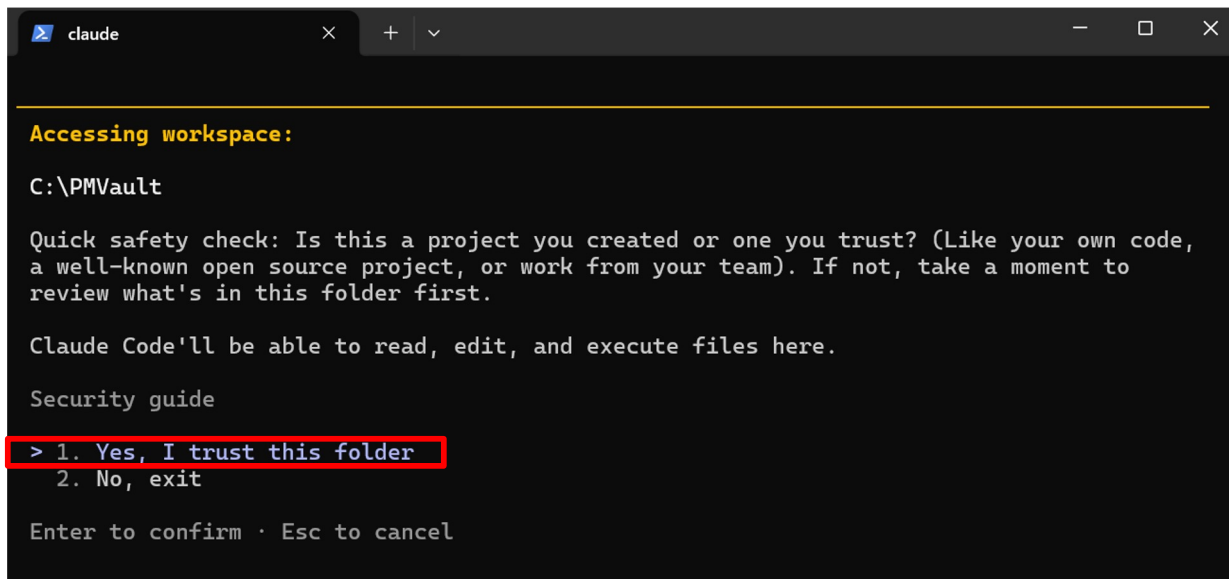
- セキュリティ上の注意（標準的な確認画面）です
- Enterキーを押して進めてください



Claude CodeとObsidianの連携

③ターミナル上でのClaudeCodeの諸設定

- フォルダを信頼するか否かの確認です
- 1.を選択した状態で、Enterキーを押して進めてください



```
claude
Accessing workspace:
C:\PMVault

Quick safety check: Is this a project you created or one you trust? (Like your own code,
a well-known open source project, or work from your team). If not, take a moment to
review what's in this folder first.

Claude Code'll be able to read, edit, and execute files here.

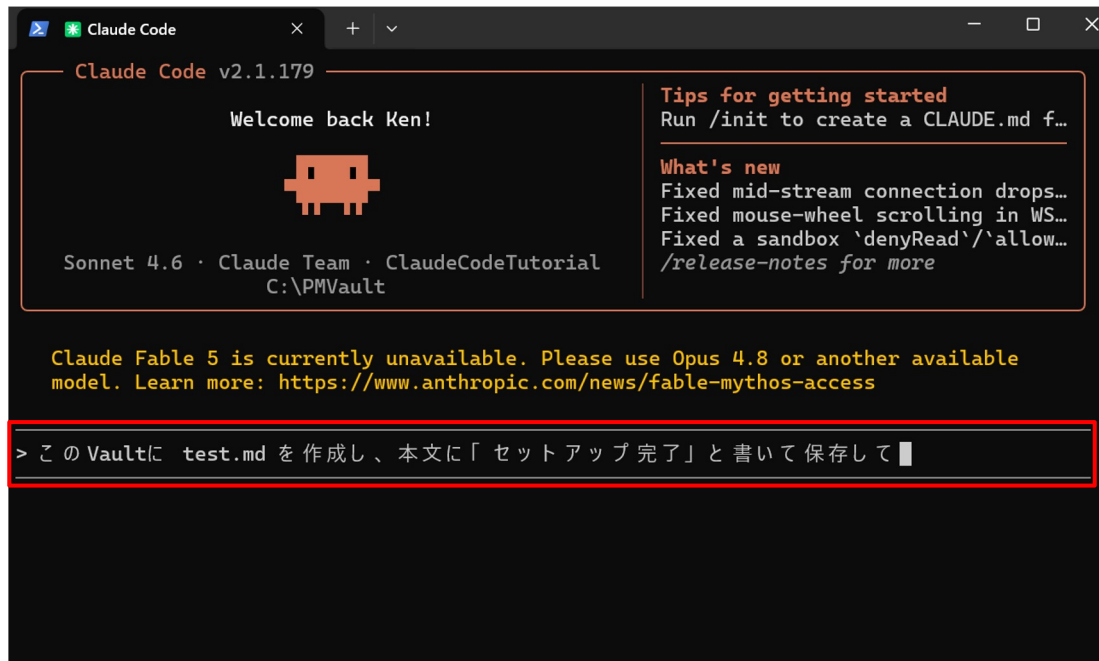
Security guide
> 1. Yes, I trust this folder
  2. No, exit

Enter to confirm · Esc to cancel
```

Claude CodeとObsidianの連携

④動作確認（テストフォルダの作成）

- 下記の画面が表示されれば、ターミナル上でClaudeCodeが利用できるようになります
- 画面下部のプロンプトの入力欄に、下記のプロンプトを入力して、Enterキーを押してください
 - このVaultにtest.mdを作成し、本文に「セットアップ完了」と書いて保存して



```
Claude Code v2.1.179

Welcome back Ken!

Sonnet 4.6 · Claude Team · ClaudeCodeTutorial
C:\PMVault

Tips for getting started
Run /init to create a CLAUDE.md f...

What's new
Fixed mid-stream connection drops...
Fixed mouse-wheel scrolling in WS...
Fixed a sandbox 'denyRead'/'allow...
/release-notes for more

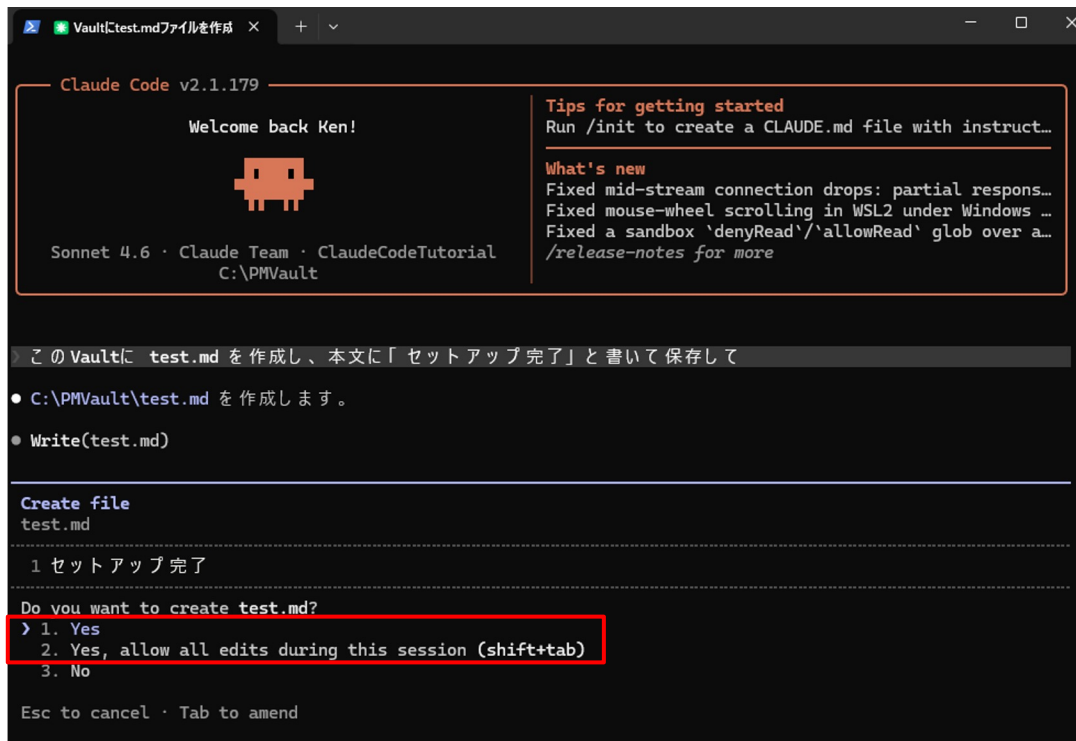
Claude Fable 5 is currently unavailable. Please use Opus 4.8 or another available
model. Learn more: https://www.anthropic.com/news/fable-mythos-access

> この Vaultに test.md を作成し、本文に「セットアップ完了」と書いて保存して
```

Claude CodeとObsidianの連携

④動作確認（テストフォルダの作成）

- フォルダ作成の確認が表示されたら、1.または2.を選択した状態で、Enterキーを押して進めてください



The screenshot shows the Claude Code v2.1.179 interface. At the top, there's a header with "Claude Code v2.1.179" and a welcome message "Welcome back Ken!" with a small robot icon. Below this, it says "Sonnet 4.6 · Claude Team · ClaudeCodeTutorial" and "C:\PMVault". To the right, there's a sidebar with "Tips for getting started" and "What's new". The main area displays a prompt: "この Vaultに test.md を作成し、本文に「セットアップ完了」と書いて保存して". Below the prompt, there are two bullet points: "● C:\PMVault\test.md を作成します。" and "● Write(test.md)". A horizontal line separates this from the "Create file" section, which shows "test.md" and "1 セットアップ完了". Below this, a prompt asks "Do you want to create test.md?". There are three options: "1. Yes", "2. Yes, allow all edits during this session (shift+tab)", and "3. No". The first two options are highlighted with a red box. At the bottom, it says "Esc to cancel · Tab to amend".

```
Claude Code v2.1.179
Welcome back Ken!
Sonnet 4.6 · Claude Team · ClaudeCodeTutorial
C:\PMVault

Tips for getting started
Run /init to create a CLAUDE.md file with instruct...

What's new
Fixed mid-stream connection drops: partial respons...
Fixed mouse-wheel scrolling in WSL2 under Windows ...
Fixed a sandbox 'denyRead'/'allowRead' glob over a...
/release-notes for more

この Vaultに test.md を作成し、本文に「セットアップ完了」と書いて保存して

● C:\PMVault\test.md を作成します。
● Write(test.md)

Create file
test.md
1 セットアップ完了

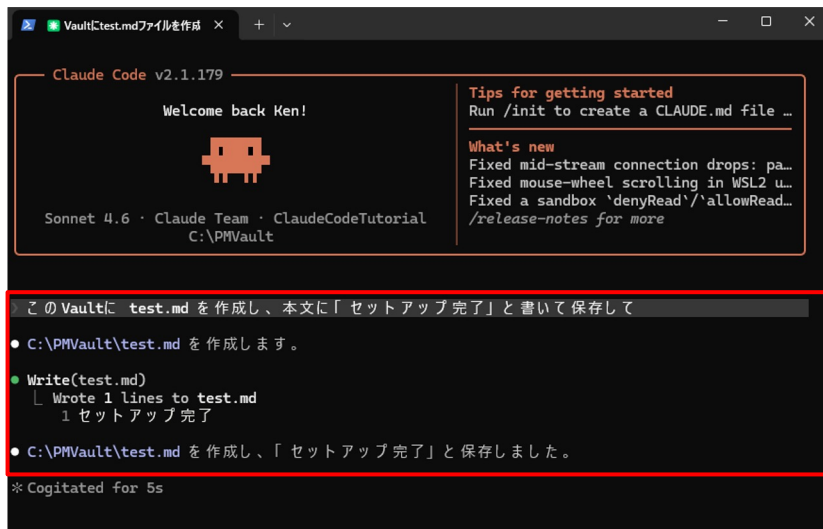
Do you want to create test.md?
> 1. Yes
  2. Yes, allow all edits during this session (shift+tab)
  3. No

Esc to cancel · Tab to amend
```

Claude CodeとObsidianの連携

④動作確認（テストフォルダの作成）

- セットアップが完了（左図）したら、Obsidianを開いてください
- Obsidian上で作成したフォルダが表示されれば、動作確認は完了です（右図）



```
Claude Code v2.1.179

Welcome back Ken!

Sonnet 4.6 · Claude Team · ClaudeCodeTutorial
C:\PMVault

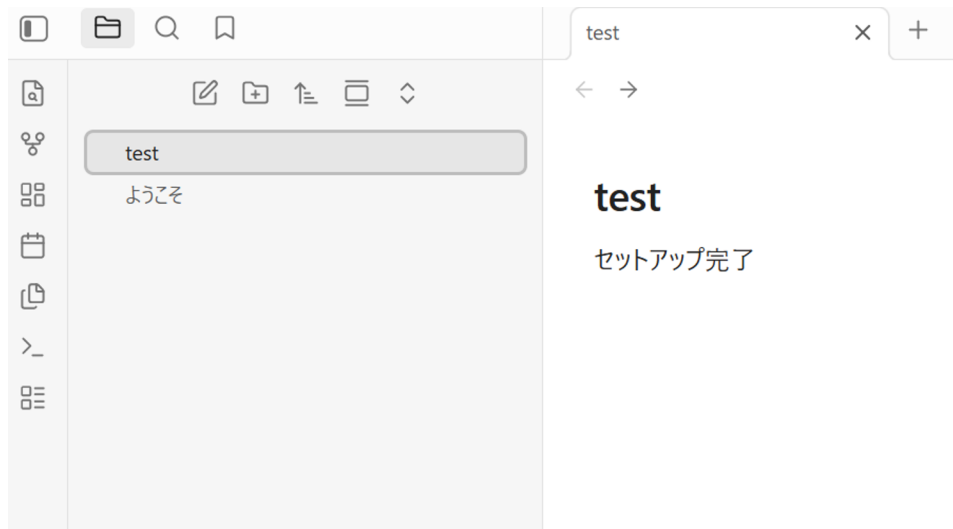
Tips for getting started
Run /init to create a CLAUDE.md file ...

What's new
Fixed mid-stream connection drops: pa...
Fixed mouse-wheel scrolling in WSL2 u...
Fixed a sandbox `denyRead`/\allowRead...
/release-notes for more

この Vault に test.md を作成し、本文に「セットアップ完了」と書いて保存して

● C:\PMVault\test.md を作成します。
● Write(test.md)
  Wrote 1 lines to test.md
  1 セットアップ完了
● C:\PMVault\test.md を作成し、「セットアップ完了」と保存しました。

※ Cogitated for 5s
```

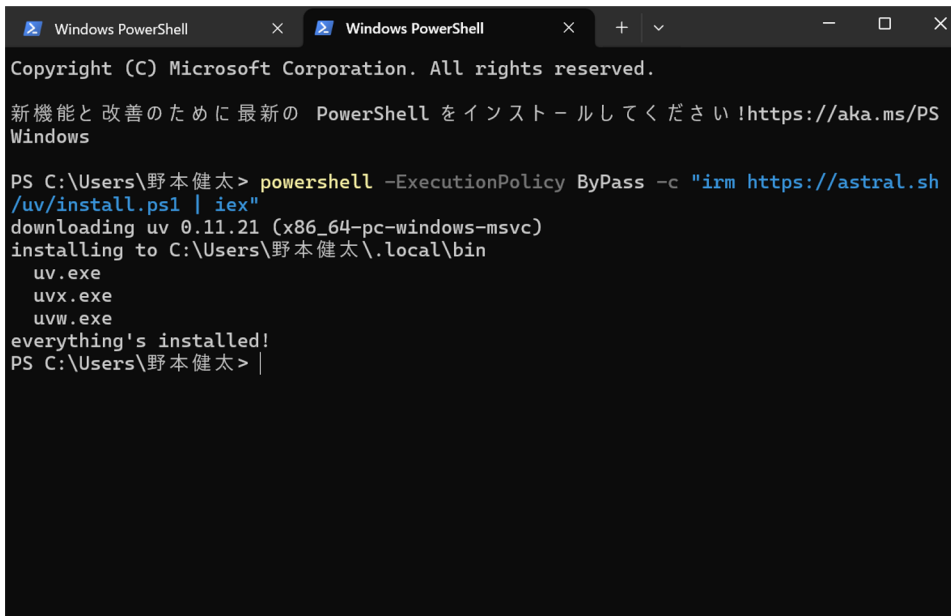


Pythonパッケージ管理ツール のインストール

Pythonパッケージ管理ツールのインストール

スライドの自動生成（Day2）の準備として、Pythonのパッケージ管理ツール（uv）をインストールします

- ターミナルを新規で開き、下記のコマンドを実行してください
 - `powershell -ExecutionPolicy ByPass -c "irm https://astral.sh/uv/install.ps1 | iex"`
- 下図のinstalled!の表示がされれば、インストールは完了です



```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新機能と改善のために最新の PowerShell をインストールしてください!https://aka.ms/PSWindows

PS C:\Users\野本 健太> powershell -ExecutionPolicy ByPass -c "irm https://astral.sh/uv/install.ps1 | iex"
downloading uv 0.11.21 (x86_64-pc-windows-msvc)
installing to C:\Users\野本 健太\.local\bin
  uv.exe
  uvx.exe
  uvw.exe
everything's installed!
PS C:\Users\野本 健太> |
```

Day3 (発展・Vibe Coding)

Node.js のインストール

Node.jsのインストール

Day3（発展・Vibe Coding）では、Webアプリを作成する予定です
Day3を受講予定の方は開発の土台となる「Node.js」をインストールしてください

Node.js のインストール

- Node.js 公式サイト（<https://nodejs.org/ja/download>）からインストーラーを取得します

Node.js®をダウンロードする

Windows を
用のNode.js® v24.16.0 LTS と npm を
Docker を使ってダウンロードする

補足 すぐに最新の機能を試したいですか？最新バージョンのNode.jsを代わりにインストールして最新の機能を試してください！

```
1 # DockerにはOSごとにそれぞれのインストール方法があります。
2 # 詳しくは https://docker.com/get-started/ にある公式ドキュメントを参照してください
3
4 # Node.jsのDockerイメージを取得する：
5 docker pull node:24-slim
6
7 # Node.jsのコンテナを作成しシェルを起動する：
8 docker run -it --rm --entrypoint sh node:24-slim
9
10 # Node.jsのバージョンを確認する：
11 node -v # "v24.16.0"が表示される。
12
13 # npmのバージョンを確認する：
14 npm -v # "11.13.0"が表示される。
```

PowerShell クリップボードにコピー

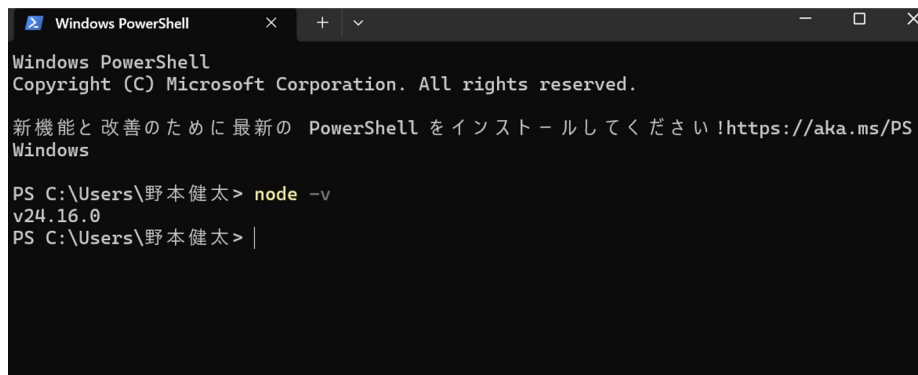
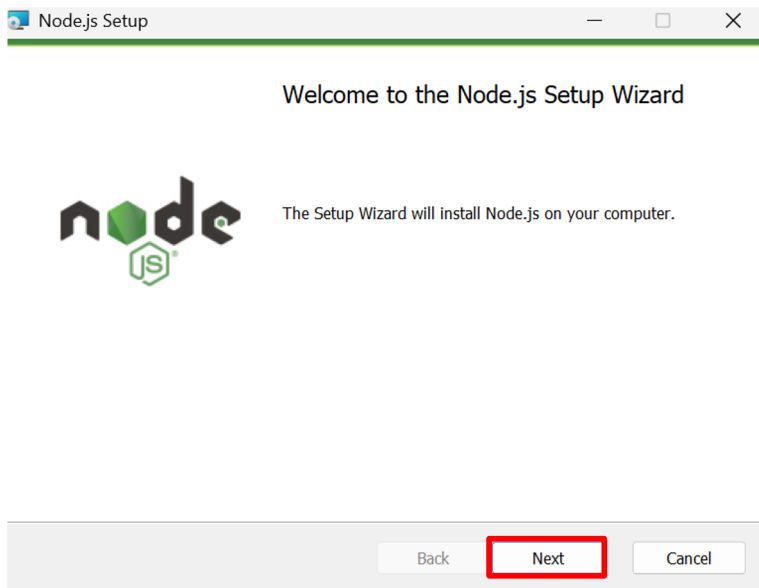
Dockerはコンテナ化に関するプラットフォームです。もし何らかの用語を見つけた場合はDockerのウェブサイト を参照してください。

x64
アーキテクチャーで動作する
Windows
用のビルド済みのNode.js®も利用できます。

Windows インストーラー (.msi) スタンドアローンのバイナリー (.zip)

Node.jsのインストール

- ダウンロードしたファイルを開き、最後まで「続ける(Next)」を押してインストールを完了させます（左図）
 - 規約の同意やオプションの設定画面が表示されますが、すべてデフォルトのままです。
- 確認のため、ターミナルを開いて `node -v` を実行します（右図）
 - バージョン（数字）が表示されれば、Node.jsのセットアップは完了です



Appendix

よくあるエラーと 対処法

PCの初期設定・ソフトウェアのバージョンが原因のエラー

症状	原因	対処法
ClaudeCodeやuvのインストール時、スクリプトの実行が「無効」と表示される・インストールが途中で失敗する	PowerShellの実行ポリシーが制限されている	以下を実行してから再試行 <code>Set-ExecutionPolicy -Scope CurrentUser RemoteSigned</code>
Claude Codeのインストールコマンドを実行すると、途中でエラーになる・インストールが失敗する	Windows標準の古いPowerShell（バージョン5.x系など）を使用しているため、最新のインストーラーが正常に動作しない	以下を実行して、PowerShell 7をインストールします <code>winget install --id Microsoft.PowerShell --source winget --installer-type wix</code> インストールが完了したら、開いているターミナルを一度閉じ、新しくインストールされた「PowerShell 7」でインストールを実行してください

パスやターミナルの設定が原因のエラー

症状	原因	対処法
インストール直後に ・ <code>claude -v</code> ・ <code>uv --version</code> ・ <code>node -v</code> を実行すると、「認識されていません」などのエラー表示が出る	インストール後のPATH設定が ターミナルに反映されていない	ターミナルを一度完全に閉じて、新しく開き直す (開き直すことで画面がリロードされ、Windowsがツールの場所を正しく認識できるようになります。それでもエラーが表示される場合はPCを再起動してください)

ファイル・フォルダの場所が原因のエラー

症状	原因	対処法
Obsidianのロケーションを選択した際、「ファイル共有サービスでの競合が検知されました」と表示される	OneDriveがDocumentsフォルダを管理しており、同期中でファイルがローカルに存在しない	OneDrive外の場所に保管庫を作り直す。ロケーションをデスクトップなどOneDrive外のフォルダに変更
Claude Codeで作ったファイルがObsidianに出てこない	Obsidianが古い状態を表示したまま更新されていない	Obsidianを一度終了して再起動する

アカウント・ログインが原因のエラー

症状	原因	対処法
Claudeにログインしたが別のメールアドレスになっている	ブラウザに別のClaudeアカウントがすでにログイン済みだった	チャット画面左下のプロフィールをクリックし、@adlittle.comのアカウントを選択
招待メールが届いていない	迷惑メールフォルダへ振り分けられている	迷惑メールフォルダを確認 それでも確認ができない場合は運営までご連絡ください

ネットワーク・インターネット接続が原因のエラー

症状	原因	対処法
インストールコマンドが途中でエラー終了する	①Wi-Fi接続が不安定 ②または社内ネットワークのプロキシやセキュリティフィルターによる制限	①安定したネットワークに切り替えて再実行 ②制限のないゲストWi-Fiやテザリングに切り替えて再実行

ショートカット集

ショートカット集

実行場所	ショートカットキー	詳細
ターミナル	↑（上矢印）キー	過去に打ったコマンドの履歴を呼び出す
ターミナル	Ctrl + C	打ち間違えた時や、処理を途中で強制終了してやり直す
ターミナル	Tab	入力中のファイル・フォルダ名を自動補完する（例：cd ~/Docと打って、Tab を押すと、自動で cd ~/Documents/ と補完されます）



株式会社ギブリー (Givery, Inc.)

〒150-0036

東京都渋谷区南平台町15-13帝都渋谷ビル8F

TEL 03-5489-7188 / FAX 03-5489-7189